学校番号	3028

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究（実教出版）						
副教材等	グローバルワイド　最新世界史図表（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

◇世界史は社会科の他の科目の内容と密接に結びついています。授業で学んだ歴史的事象を、日本史と連動させて考えたり、地理的にとらえ直すよう、常に心がけること。そのために、ワークシートや小論文などの課題にも積極的に取り組むことが重要である。
◇現代社会の出来事について世界史の大きな枠組みを踏まえて考察し、自らの意見や考えを持ち、発信できる力を身につけてほしい。そのために、諸資料の読み取りの方法にも精通すること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】データや資料から歴史を理解し、文化の多様性を考察できる広い視野を養う。
【思考力・判断力・表現力等】日本史との関連性を意識しながら歴史的思考力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】国際社会に生きる資質を主体的学習を通じて養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b:思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	与えられた教材の中の史料や、自らの探究活動で得られた諸資料をもとに、有用な情報を選択し、適切に解釈して、小論文やレポートの作成にうまく生かしている。	世界史を学びながら日本史的・地理的事象との関連性を含めて多面的に考察し、現代社会の変化を公正に判断して、歴史的経過・結果や自らの意見を適切に表現できている。	古代から近世を含めた世界の歴史に対する関心を高め、文化の多様性を追究する意欲を持つ。また、国際社会で責任を持って行動できる、日本国民としての資質を形成しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期1	諸地域の歴史的特質	＊古代文明 ＊東アジアと中央ユーラシア ＊南アジアと東南アジア	a:世界史の源流となる諸地域世界の形成過程に、深い知識を持っている。 b:学習内容を多面的に考察し、歴史的経過や因果関係を適切に表現できている。 c:学習内容を日本史的・地理的事象と関連付け、世界の歴史に対する理解を深めている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
前期2	諸地域の歴史的特質	＊西アジア・地中海世界 ＊ヨーロッパの形成	a:西アジアと地中海世界が関係深い世界であり、ヨーロッパもその影響を受けていることを知る。 b:同上 c:同上	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
前期3～後期1	諸地域の交流と発展	＊イスラーム圏の拡大 ＊中央ユーラシアと諸地域の交流・再編 ＊大交易時代	a:全ユーラシア規模のネットワークを作ったモンゴル帝国とそのネットワークが果たした役割について、理解している。 b:同上 c:同上	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
後期2	諸地域の結合と変容	＊アジア諸地域の帝国 ＊近世ヨーロッパの形成	a:ヨーロッパ世界が、アジア諸地域の帝国に比べて世界に与える影響力の少ない世界であったことを知る。 b:同上 c:同上	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
後期3	諸地域の結合と変容続	＊産業革命と大西洋革命	a:二重革命と呼ばれる２つの革命がヨーロッパのステージを大きく上げたことを知る。 b:同上 c:同上	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度